

# 法人名 (財)やまなし文化学習協会

## 【法人の概要】

代表者名	理事長 大澤英二		所管部(局)課	生涯学習文化課	
所在地	甲府市朝気1-2-2		電話番号	055-235-4171	
ホームページURL	http://www.yamanashi-bunka.or.jp		E-mailアドレス	<a href="mailto:info-bun@yamanashi-bunka.or.jp">info-bun@yamanashi-bunka.or.jp</a>	
資本金(基本財産)	15,000	千円	設立年月日	平成11年4月1日	
主な出資者	出資順位	出資者名		出資額	出資比率
	1	山梨県		15,000 千円	100.0 %
	2			千円	0.0 %
	3			千円	0.0 %
	4			千円	0.0 %
	5			千円	0.0 %
	6			千円	0.0 %
	7			千円	0.0 %
	8			千円	0.0 %
	9			千円	0.0 %
	10			千円	0.0 %
その他	団体(者)		千円	0.0 %	
設立経緯概況等	設立目的:個性あふれる文化の創造と生涯学習社会を構築するための環境や人づくりを支援し、もって、潤いのある県民生活の実現に寄与する。概況:県民の自発的な生涯学習、芸術文化活動を支援し、生涯学習を基盤とした生涯設計、社会生活の創造、地域文化の振興を図るとともに、地域社会の活性化を担う人材を育成するための事業を実施する。併せて県下の生涯学習推進拠点施設である生涯学習推進センターの運営と、文化活動拠点である山梨県立県民文化ホール及び山梨県民会館・県民情報プラザ展示会場の管理運営を行う。また、平成20年度より甲斐市双葉ふれあい文化館を指定管理者として管理運営する。				

## 【主要事業の概要】

事業名	内容	事業費(単位:千円)		
		H18年度	H19年度	H20年度
事業1 山梨文化創造事業	協会オリジナル公演を企画・制作し、舞台芸術に従事している県民自らが公演に参加する事で文化的土壌を広げる。県民第九演奏会、文化教養講座、ワークショップほか	16,337	14,973	15,806
事業2 優秀芸術鑑賞事業	国内外の優れた舞台芸術を廉価で県民に紹介する。歌舞伎鑑賞教室、グランドシアター、やまなしワインコンサートほか	41,979	44,704	43,410
事業3 生涯学習推進事業	学習情報の収集・提供、まなびネット運営、移動学習相談事業、山梨学講座等の開催ほか	5,124	5,283	4,668

## 【組織】

年度	平成19年度					平成20年度					平成21年度				
	プロパー職員	派遣・兼務	県職員	県OB	その他	プロパー職員	派遣・兼務	県職員	県OB	その他	プロパー職員	派遣・兼務	県職員	県OB	その他
4月1日現在の人員															
役員	理事(常勤)	1		1		1			1		1	1			
	理事(非常勤)	10		2	8	10		2		8	10		2		8
	監事(常勤)	0				0					0				
	監事(非常勤)	2		1	1	2		1		1	2		1		1
	評議員	13		4	9	11		2		9	11		2		9
計	26	0	7	1	18	24	0	5	1	18	24	1	5	0	18
職員	管理職	3	3			3	3				5	5			
	一般職員	20	20			19	19				11	11			
	臨時職員	0				4	4				3	3			
	非常勤職員	1	1			1	1				12	11		1	
計	24	24	0	0	0	27	27	0	0	0	31	30	0	1	0
プロパー職員の年齢構成(H22.4.1現在)	年齢	~20	21~30	31~40	41~50	51~60	61歳以上	合計			平均年齢	平均年収			
	男性				7	6	1	14	役員常勤	※		(千円)			
	女性			4	9	3	2	18	職員常勤	49		(千円)			
合計	0	0	4	16	9	3	32				4,963				

※常勤役員は、1名のためのため、個人情報保護の観点から非公開

## 【経営の状況】

(単位:千円)

項 目		18年度	19年度	20年度	増減(20-19)
正味財産の状況	基本財産運用益	9	60	60	0
	受取会費	0	0		0
	受取寄付金	0	0		0
	受託事業収益	253,722	267,197	267,503	306
	自主事業収益	189,399	184,942	211,933	26,991
	受取補助金等	6,719	5,814	9,265	3,451
	雑収益	13,841	11,083	6,713	△ 4,370
	経常収入 計	463,690	469,096	495,474	26,378
	事業費	430,793	434,983	470,157	35,174
	うち人件費	168,576	165,643	176,127	
	管理費	4,726	4,721	4,736	15
	うち人件費	4,709	4,704	4,719	15
	経常支出 計	435,519	439,704	474,893	
	当期経常増減額	28,171	29,392	20,581	△ 8,811
	経常外収入				0
	経常外支出				0
	当期経常外増減額	0	0	0	0
当期正味財産増減額	28,171	29,392	20,581	△ 8,811	
正味財産期首残高					
正味財産期末残高	28,171	29,392	20,581	△ 8,811	

(単位:千円)

項 目		18年度	19年度	20年度	増減(20-19)
財務状況	流動資産	79,223	89,478	124,588	35,110
	固定資産	15,000	15,000	15,364	364
	資産 計	94,223	104,478	139,952	35,474
	流動負債	47,238	28,100	42,993	14,893
	うち短期借入金				0
	固定負債				0
	うち長期借入金				0
	負債 計	47,238	28,100	42,993	14,893
	正味財産	46,985	76,378	96,959	20,581
	うち基本財産への充当額				
うち特定資産への充当額					

(単位:千円)

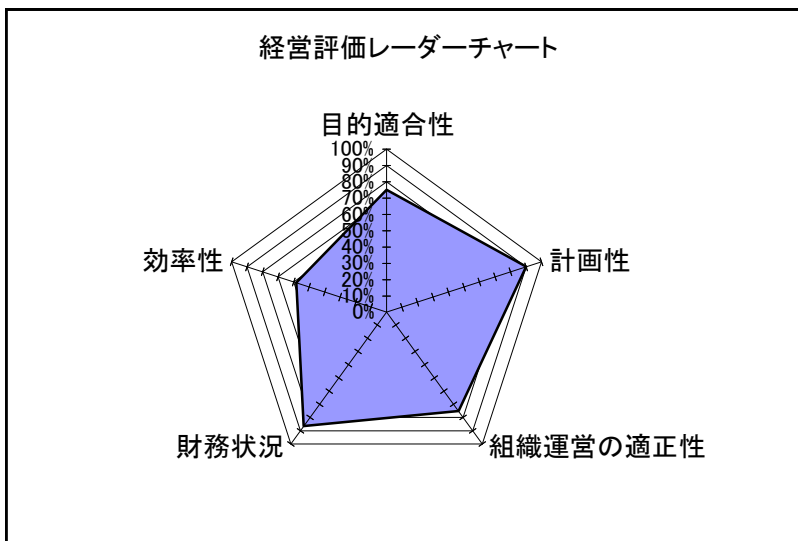
項 目		18年度	19年度	20年度	増減(20-19)
県の財政的関与の状況	負担金				0
	人件費(派遣法)補助金				0
	人件費(派遣法以外)補助金				0
	人件費以外の補助金				0
	運営費補助金	0	0	0	0
	事業費補助金	3,346	5,814	3,452	△ 2,362
	補助金 計	3,346	5,814	3,452	△ 2,362
	人件費(派遣法)委託金				0
	人件費(派遣法以外)委託金	43,668	41,206	42,534	1,328
	人件費以外の委託金	210,053	225,991	224,969	△ 1,022
	委託金 計	253,721	267,197	267,503	306
	県支出金 計	257,067	273,011	270,955	△ 2,056
	県の財政的関与の割合(%)	55.4	58.2	54.7	△ 4
県貸付金残高				0	
県債務負担実際残高				0	

## 【県の財政的関与の内容・目的】

項目	内容・目的
補助金(運営費)	なし
補助金(事業費)	県内の市町村、公立ホールと連携し優れた舞台芸術(演劇、寄席、オーケストラ等)を県民に提供する
委託金	文化芸術活動の拠点である県民文化ホールの管理運営及び県民会館の管理運営、生涯学習推進の拠点施設である県生涯学習推進センターの運営、平成20年度より甲斐市双葉ふれあい文化館の管理運営
債務負担行為	指定管理委託料

【自己評価・評点集計】:(経営評価算出表により、法人自らが評価した結果を記入)

評価の視点	評価ポイント	評価項目数	満点	評点	得点率
目的適合性	出資法人が当初の設立目的あるいは公益目的と適合した業務を行っているかを問う視点	5	20	15	75.0%
計画性	出資法人が長期的ビジョンを持って計画的に事業運営に取り組んでいるかを問う視点	5	20	18	90.0%
組織運営の適正性	組織・人事・財務等の内部管理体制が適切に整備、運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切であるかを問う視点	4	16	12	75.0%
財務状況	出資法人の経営の安全性や収益性を問う視点	11	44	38	86.4%
効率性	出資法人の組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているかを問う視点	9	36	21	58.3%
合計		34	136	104	76.5%



【警戒指標】

【出資法人の自己評価】:(各評価の視点毎に、法人自らによる分析・検証の結果及び対応策を記入)

目的適合性	設立目的に適合した業務を適切に行っており良好である。
計画性	中長期計画、年次事業計画に基づいた運営をしており良好である。
組織運営の適正性	組織・人事・財務等の内部管理体制を適切に整備運用しており、事業報告・財務情報等も公開しているので良好である。
財務状況	18年度から指定管理者となり、常に収入と支出の状況をチェックし対応している。収支決算が黒字になっており良好である。
効率性	経営状況は黒字で施設利用人数も増加しており効率性は良好である。
総合的評価	指定管理者となってからの施設利用率、利用料金収入はほぼ増加しており経営状況は良好である。今後管理する各施設も利用者に安全で利用しやすい施設づくりに努めながら運営をしていく。



対応策	今後も県民ニーズに対応した質の高いサービスを提供するとともに、管理費の削減と収入確保に努め効率的な運営を実施していく。引き続き定期的に差異分析を行い経営課題を的確に把握しその都度見直していく。
-----	--

【法人担当部局の所見】:(法人所管部局による各評価の視点毎の分析、評価)

目的適合性	自発的な芸術文化、生涯学習を支援するため、文化ホール、県民会館、生涯学習推進センター、双葉ふれあい文化館を運営し各種事業を行ってきた。入場者数からも事業は一定の成果を挙げていると評価できる。平成21年度からは県民文化ホールの管理からは外れたが、男女共同参画推進センターの指定管理を任されている。健全な経営を保ちつつ、県民ニーズを捉えた事業を企画、提供することが必要である。
計画性	事業計画において具体的な数値目標を置くなど計画性のある法人経営がなされてきた。経営環境の変化を受け、今後は男女共同参画推進センターの管理運営を主軸にした法人経営に転換していく必要がある。
組織運営の適正性	職員配置や職員給与についての大幅な見直しを行った。管理施設の変更による大幅な配置転換により、職務内容が大きく変わった職員も多数いることから、職員の職務へのモチベーションの引き上げの方法、長期的な視点での人員構成について検討が必要。
財務状況	H20年度までの収支は堅調に推移し、借入金も無く財務内容の健全性は確保されてきた。収益の柱であった県民文化ホールの管理運営から外れ、収支の悪化も懸念されることから、今後も、収入増と経費削減に向けた取り組みを一層進めていくことが必要である。
効率性	H20年度末に一般職員の削減及び新給与体系への移行等、人件費抑制策を実施。今後も収入増と併せ、より長期的観点で適正な人件費水準の維持に努めていく必要がある。
総合的評価	H20年度までは概ね適正な運営がなされている。H21年度からは県民文化ホールの指定管理から外れ、新たに男女共同参画推進センターの指定管理が主軸となっている。自立的な経営を図るため、職員給与や組織体制の見直しを行ってきた。今後は具体的な数値目標を設定し、職員のモチベーションを維持しつつ、長期的な視点での健全な経営を維持していく努力が必要である。

【総合評価】:(経営評価委員会、経営評価アドバイザーによる総合評価)

今後更なる改善、見直しを行うべき視点	
総合的所見	
※ランク下の%は得点率の範囲	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成18年4月から県民文化ホール等の指定管理者となり、利用者サービスの向上や経費の削減など運営努力を続けてきたため、これまでは概ね健全な経営を行ってきた。</li> <li>しかし、収入の大部分を占める県民文化ホールの指定管理から外れたことにより、平成21年度からは収支状況の悪化が予想されるため、状況を的確に分析し、事業規模に見合った適正な人員配置や今後の経営の在り方など経営の抜本的な見直しが必要である。</li> <li>また、公益法人制度改革への対応について早急に検討を行う必要がある。</li> </ul>



【総合所見等に対する今後の対応方針】

県民文化ホールの指定管理者から外れたことに伴い、経営環境が大幅に変化したため、平成21年度から人件費、管理経費等を削減するなど経営の合理化に努めてきた。今後も、収入の確保や経費の削減を図り、経営体質の強化に努めていく。

また、現在指定管理者等を受託している施設の管理運営については、利用者のサービス向上や効率的な運営に努め、継続して指定管理等の受託を獲得できるよう取り組むとともに、新たな公立文化施設に対する指定管理の受託を検討していく。

なお、公益法人制度改革の対応については、今後の協会経営のあり方をふまえ、平成23年度中の方針決定を目標に検討を進める。